

# 子ども読書活動等に関するアンケート調査結果〔概況〕 【対象】高校生

〈対象数〉209人 〈回答数〉195人 ※回収率 93.3%

※「複数回答とした設問(【問2・3・9】)」では、設問に対する回答者数を分母として選択肢毎の割合を算出した。(回答比率の合計が100%を上回る場合あり)

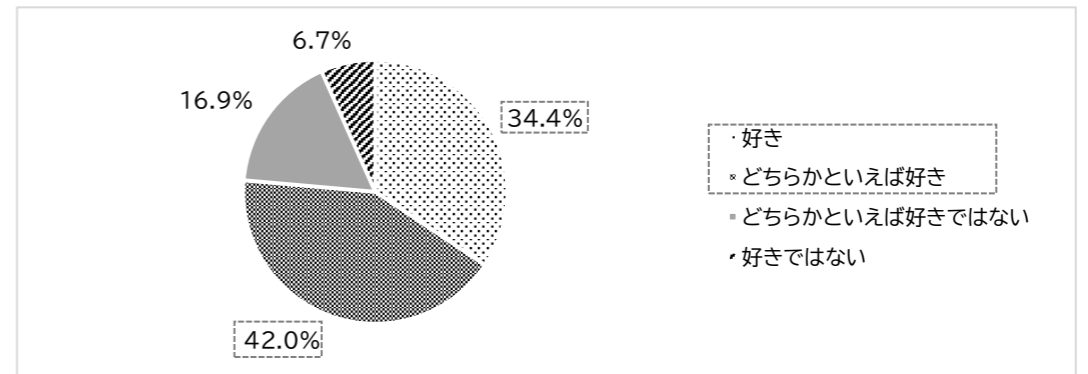
## 「読書に対する意識」

【問1】読書は好きですか。

	〈回答数〉	〈割合〉
1. 好き	67	34.4%
2. どちらかといえば好き	82	42.0%
3. どちらかといえば好きではない	33	16.9%
4. 好きではない	13	6.7%

〔読み取れること、ポイント〕

- 読書が「好き」と回答した生徒は全体の34%で、「どちらかといえば好き(42%)」を合わせると、76%が「好き」と回答。

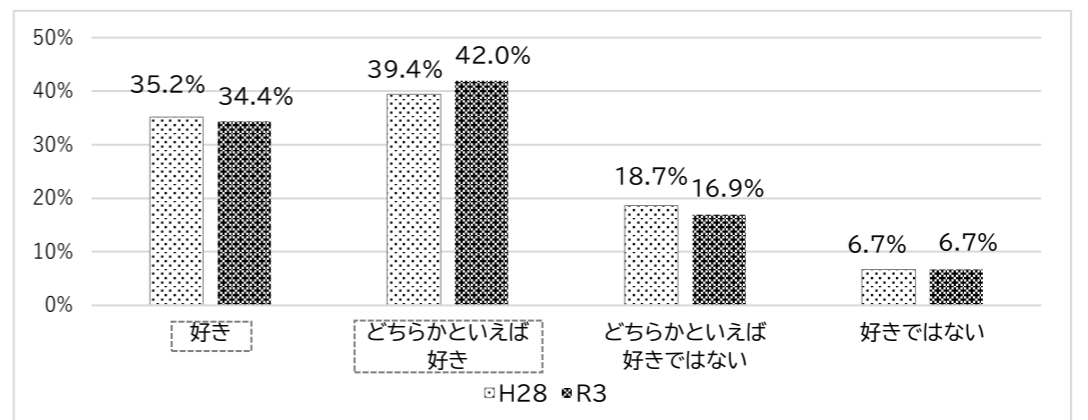


## 「比較」前回調査(H28)との比較

	H28	R3
1. 好き	35.2%	34.4%
2. どちらかといえば好き	39.4%	42.0%
3. どちらかといえば好きではない	18.7%	16.9%
4. 好きではない	6.7%	6.7%

〔読み取れること、ポイント〕

- 読書が「好き」「どちらかといえば好き」と回答した割合(76%)は、前回調査(75%)とほぼ変わらない。



※ここからは「紙の本(マンガや雑誌、新聞、教科書や参考書は除く)」による「読書」についてお聞きします。

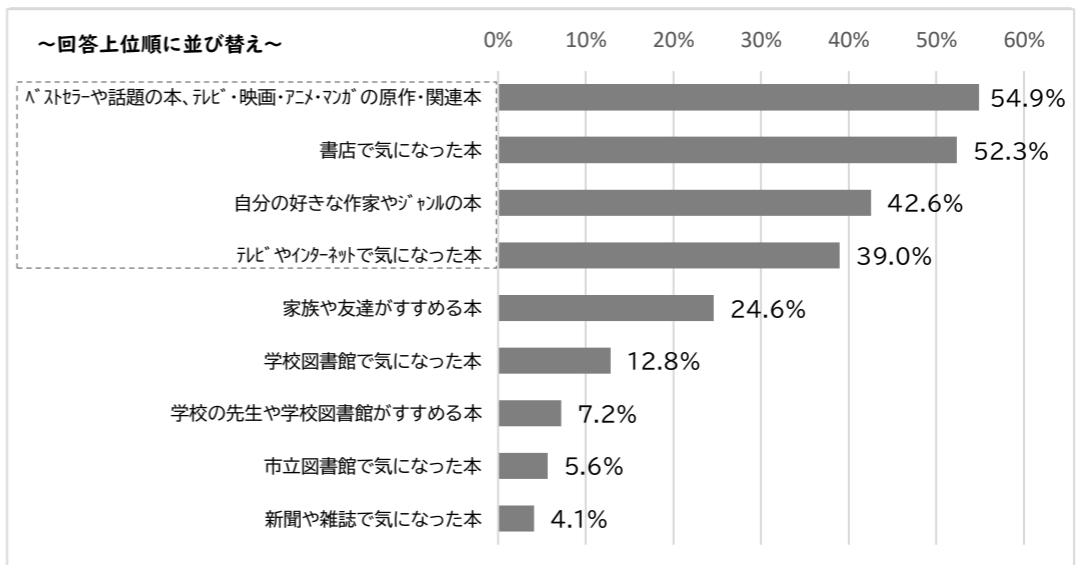
## 「本の選び方」

【問2】「どのような本」を読んでいますか。(複数回答)

	〈回答数〉	〈割合〉
1. 書店で気になった本	102	52.3%
2. テレビやインターネットで気になった本	76	39.0%
3. 新聞や雑誌で気になった本	8	4.1%
4. 市立図書館で気になった本	11	5.6%
5. 学校図書館で気になった本	25	12.8%
6. アニメや話題の本、テレビ・映画・アニメ・マンガの原作・関連本	107	54.9%
7. 自分の好きな作家やジャンルの本	83	42.6%
8. 家族や友達がすすめる本	48	24.6%
9. 学校の先生や学校図書館がすすめる本	14	7.2%

〔読み取れること、ポイント〕

- 「アニメや話題の本、テレビ・映画・アニメ・マンガの原作・関連本」「自分の好きな作家やジャンルの本」「テレビやインターネットで気になった本」が多く、学校や図書館以外の場で情報収集している様子が見える。
- また「書店で気になった本」も多く、実際に書店に足を運んでいる様子も見える。



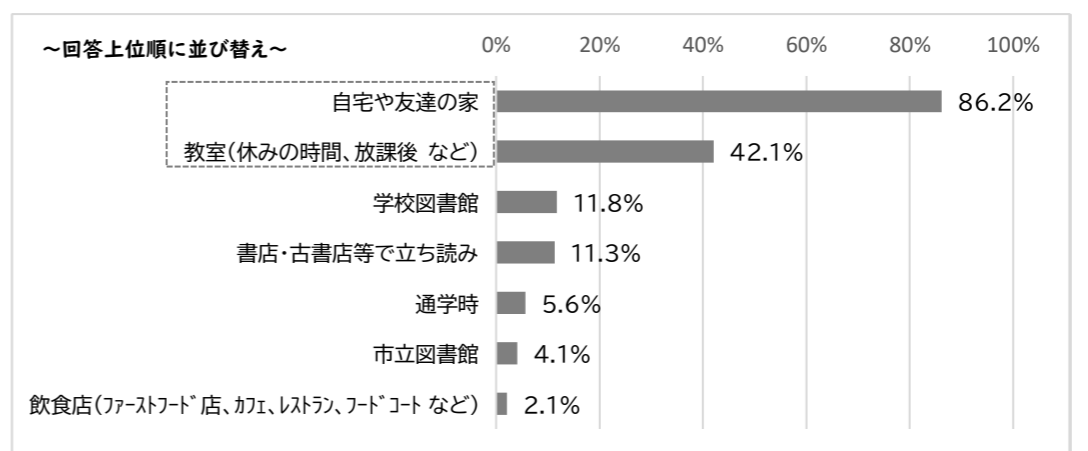
## 「本を読む場所」

【問3】「どのような場所」で本を読みますか。(複数回答)

	〈回答数〉	〈割合〉
1. 自宅や友達の家	168	86.2%
2. 市立図書館	8	4.1%
3. 学校図書館	23	11.8%
4. 教室(休みの時間、放課後 など)	82	42.1%
5. 通学時	11	5.6%
6. 飲食店(ファーストフード店、カフェ、レストラン、フードコート など)	4	2.1%
7. 書店・古書店等で立ち読み	22	11.3%

〔読み取れること、ポイント〕

- 「自宅や友達の家」が86%と最も多く、次いで「教室」が42%となっており、「図書館」等で読む割合より多くなっている。



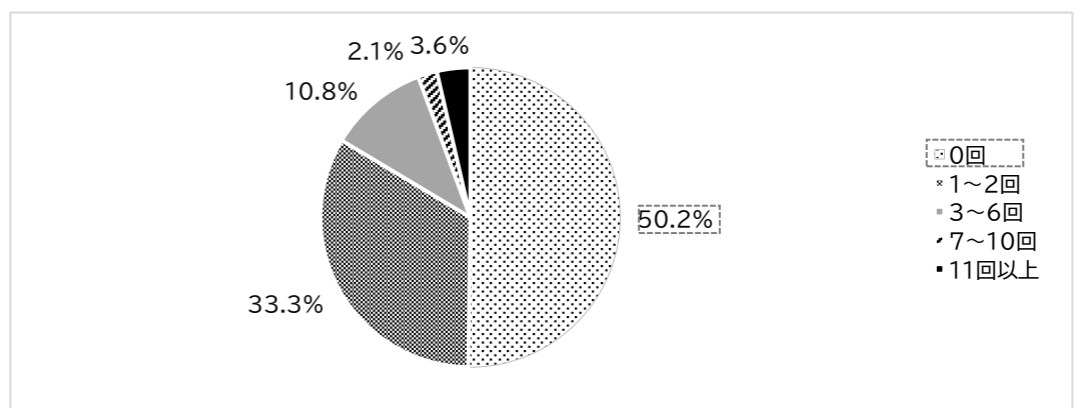
## 「学校図書館の利用状況」

【問4】「先月(令和3年10月)、1か月の間」に、「学校の図書館」に何回行きましたか。

	〈回答数〉	〈割合〉
1. 0回	98	50.2%
2. 1~2回	65	33.3%
3. 3~6回	21	10.8%
4. 7~10回	4	2.1%
5. 11回以上	7	3.6%

〔読み取れること、ポイント〕

- 「0回(学校図書館を利用していない)」が半数、次いで月に「1~2回(33%)」「3~6回(11%)」と続く。

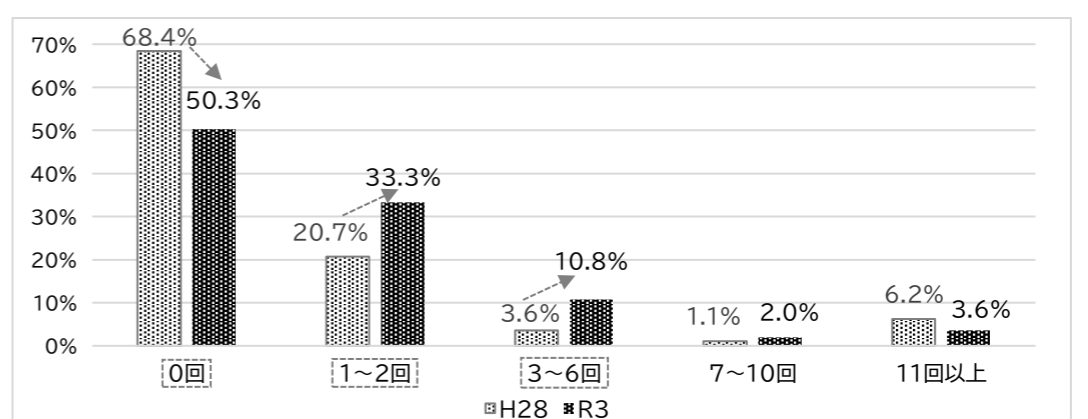


## 「比較」前回調査(H28)との比較

	H28	R3
1. 0回	68.4%	50.3%
2. 1~2回	20.7%	33.3%
3. 3~6回	3.6%	10.8%
4. 7~10回	1.1%	2.0%
5. 11回以上	6.2%	3.6%

〔読み取れること、ポイント〕

- 前回調査と比べ、「0回」が大幅に減少(18ポイント)し、月に「1~2回」(13ポイント増)、「3~6回」(7ポイント増)となったことから、学校図書館に定期的に通う生徒が増えている。



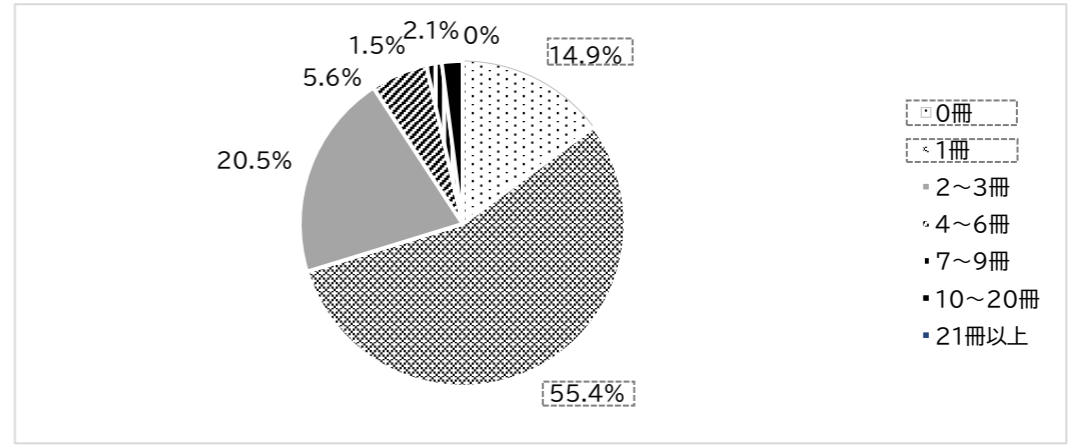
「読書冊数」

【問5】先月、1か月の間に、本を“何冊”読みましたか。  
※同じ本を2回読んだ場合は、2冊と数えてください

	〈回答数〉	〈割合〉
1. 0冊	29	14.9%
2. 1冊	108	55.4%
3. 2～3冊	40	20.5%
4. 4～6冊	11	5.6%
5. 7～9冊	3	1.5%
6. 10～20冊	4	2.1%
7. 21冊以上	0	0%

【読み取れること、ポイント】

- 8割を超える生徒が本を読み、この内『1冊』が56%と最も多く、次いで『2～3冊(21%)』『4～6冊(6%)』と続いている。「0冊(読まなかった)」は15%となっている。
- 補足 <別途分析> 【問1】で「読書が好きではない、どちらかといえば好きではない」と回答した生徒の67%が「1冊以上」の本を読んでいることがわかった。

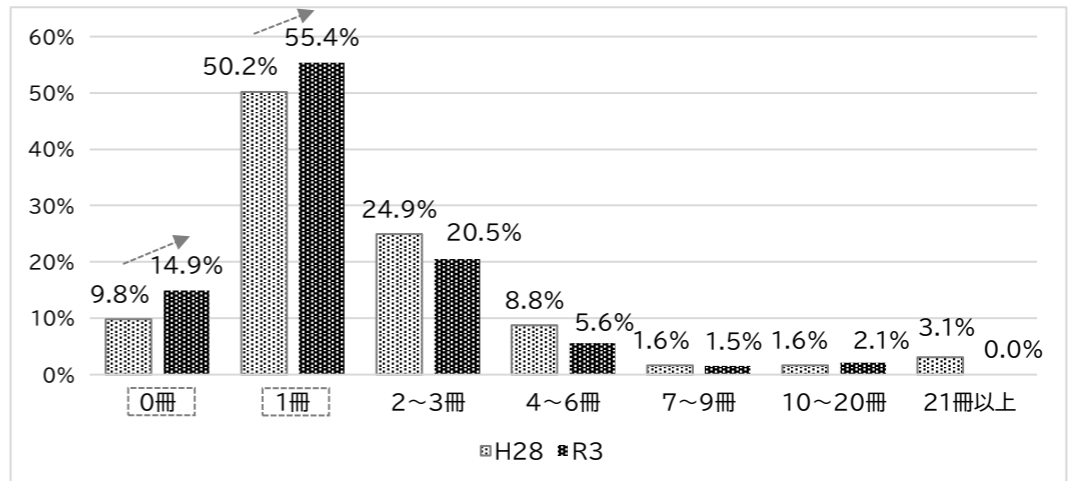


「比較」前回調査(H28)との比較

	H28	R3
1. 0冊	9.8%	14.9%
2. 1冊	50.2%	55.4%
3. 2～3冊	24.9%	20.5%
4. 4～6冊	8.8%	5.6%
5. 7～9冊	1.6%	1.5%
6. 10～20冊	1.6%	2.1%
7. 21冊以上	3.1%	0.0%

【読み取れること、ポイント】

- 前回調査と比べ、「0冊(読まなかった)」が増加(5ポイント)。「1冊」が増加(5ポイント)した一方で、「2～3冊」「4～6冊」「21冊以上」はそれぞれ減少している。



「幼少期からの読書量の変化」

【問6】これまでを振り返って、「小学校に入学する前」「小学1～3年生」「小学4～6年生」「中学生」それぞれ時期に、“どれくらいの本”を読みましたか。

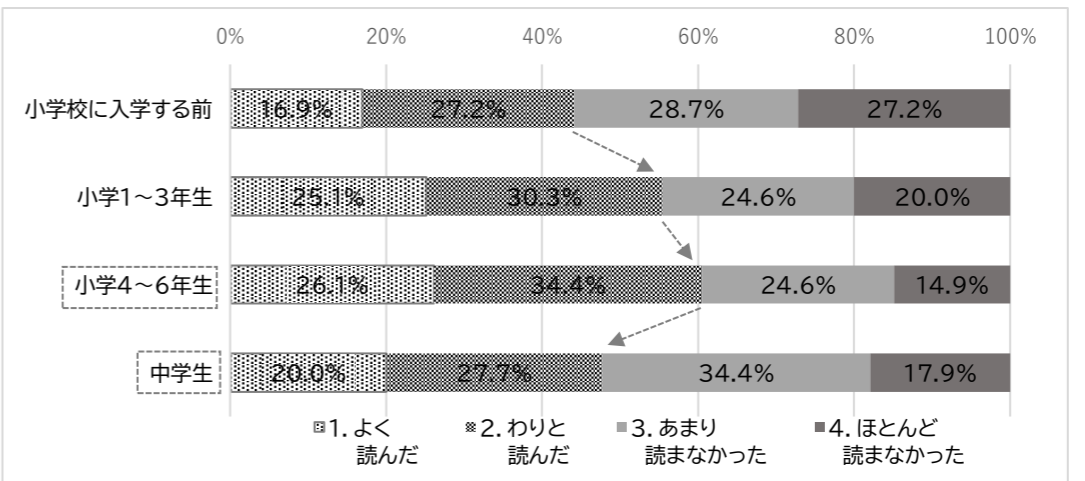
	〈回答数〉			
	1. よく読んだ	2. わりと読んだ	3. あまり読まなかった	4. ほとんど読まなかった
① 小学校に入学する前	33	53	56	53
② 小学1～3年生	49	59	48	39
③ 小学4～6年生	51	67	48	29
④ 中学生	39	54	67	35

〈割合〉			
1. よく読んだ	2. わりと読んだ	3. あまり読まなかった	4. ほとんど読まなかった
16.9%	27.2%	28.7%	27.2%
25.1%	30.3%	24.6%	20.0%
26.1%	34.4%	24.6%	14.9%
20.0%	27.7%	34.4%	17.9%

【読み取れること、ポイント】

～「高校生自身の主観、振り返りに基づく回答」であることに留意～

- 「よく読んだ」「わりと読んだ」が最も多いのは、「小学4～6年生の時」(61%)となっている。
- 「よく読んだ」「わりと読んだ」を合せた読書量は、小学校高学年まで増加するが、中学生になると減少してしまうことがわかる。
- 中学生になると、部活動や家庭学習(塾を含む)等の時間が増加し、読書時間の確保が難しい状況にあるものと推測される。



「高校生になってからの読書量の変化」

【問7】「中学生の時」と比べて、高校生になって“本を読む時間や本の量”は変わりましたか。

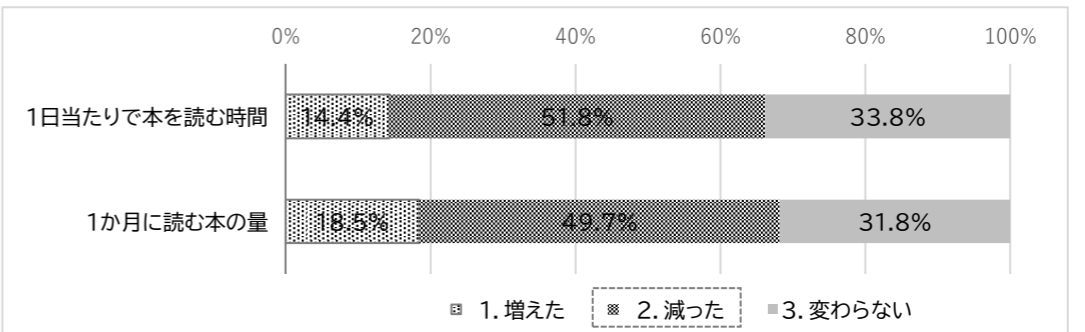
	〈回答数〉		
	1. 増えた	2. 減った	3. 変わらない
① 1日当たりで本を読む時間	28	101	66
② 1か月に読む本の量	36	97	62

〈割合〉		
1. 増えた	2. 減った	3. 変わらない
14.4%	51.8%	33.8%
18.5%	49.7%	31.8%

【読み取れること、ポイント】

～「高校生自身の主観、振り返りに基づく回答」であることに留意～

- 中学生の時と比べて高校生になってからの読書量は、「読む時間」「本の量」とともに「減った」との回答がほぼ半数となっている。
  - 一方で、「増えた」と回答した生徒が2割近くいることがわかる。
- 補足 <別途分析> 「増えた」と回答した生徒のほとんどは、「自宅や友人の家」「教室」で読書をし、この内68%は、これとは別に「電子書籍も読んでいる」ことがわかった。



「読書時間」

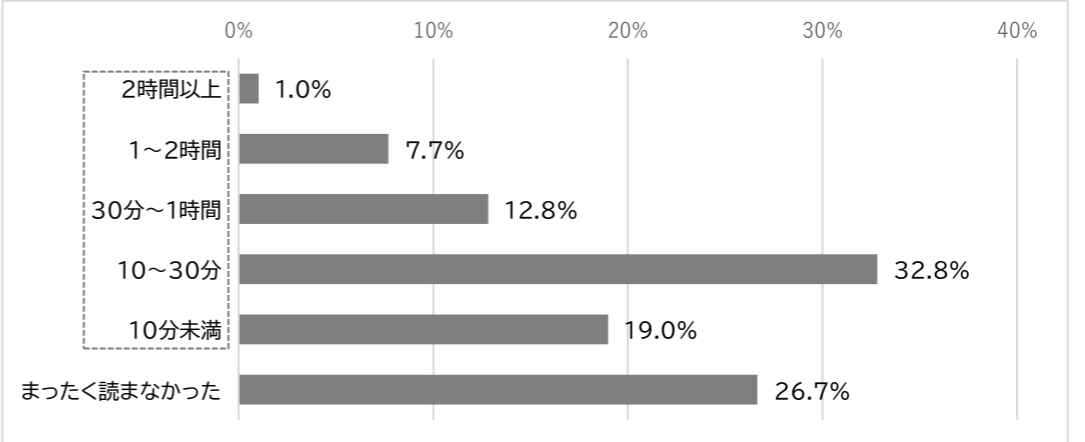
【問8】先月、1か月の間に、「平日(学校の授業時間以外)」、「1日当たりどれくらいの時間」本を読みましたか。

	〈回答数〉	〈割合〉
1. 2時間以上	2	1.0%
2. 1～2時間	15	7.7%
3. 30分～1時間	25	12.8%
4. 10～30分	64	32.8%
5. 10分未満	37	19.0%
6. まったく読まなかった	52	26.7%

【読み取れること、ポイント】

- 読書時間は「10～30分」が33%と最も多く、次いで「10分未満」「30分～1時間」「1～2時間」と続いている。「まったく読まなかった」は、27%となっている。

補足 <別途分析> 「短時間(30分未満)の読書をしている生徒」が本を読む場所は、「自宅・友達の家が8割強」「教室が4割強」となっており、(勉強や部活動等で多忙な中、まとまった時間は取れなくても)空き時間を見つけて読書に勤しむ様子がうかがえる。



「本を読まなかった理由」

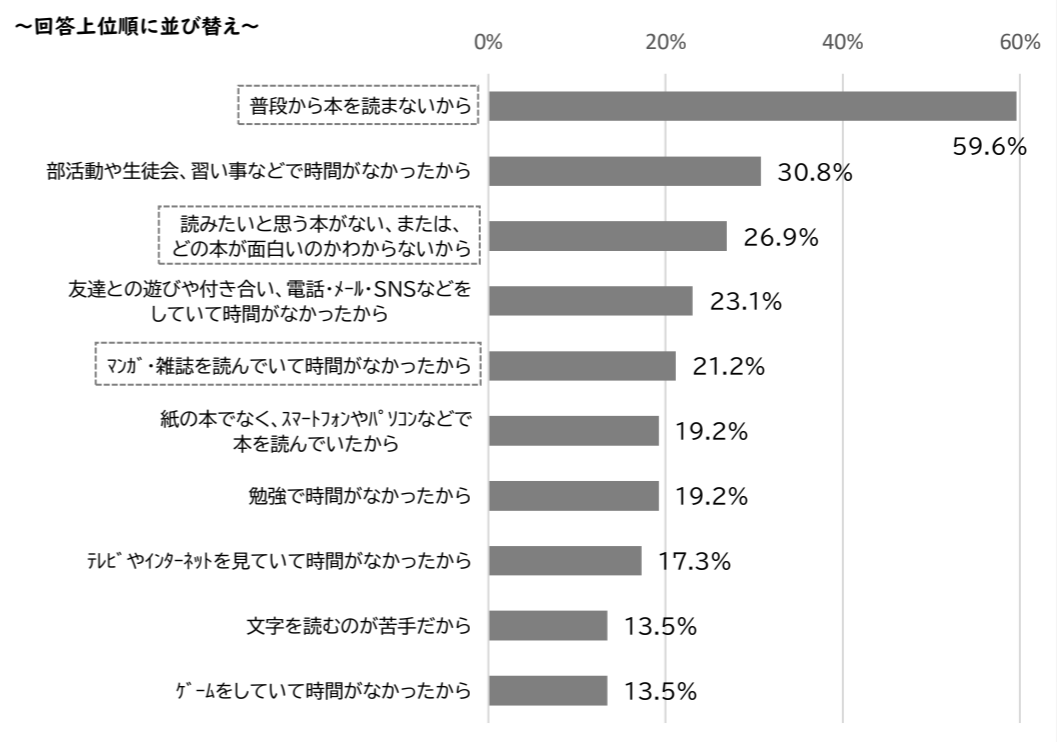
【問9】 <【問8】で「6. まったく読まなかった」と回答した方のみ>  
 “本を読まなかった理由”があれば教えてください。(複数回答)

	〈回答数〉	〈割合〉
1. 勉強で時間がなかったから	10	19.2%
2. 部活動や生徒会、習い事などで時間がなかったから	16	30.8%
3. 友達との遊びや付き合い、電話・メール・SNSなどをしていて時間がなかったから	12	23.1%
4. テレビやインターネットを見ていて時間がなかったから	9	17.3%
5. ゲームをしていて時間がなかったから	7	13.5%
6. マンガ・雑誌を読んでいて時間がなかったから	11	21.2%
7. 紙の本でなく、スマートフォンやパソコンなどで本を読んでいたら	10	19.2%
8. 読みたいと思う本がない、または、どの本が面白いかわからないから	14	26.9%
9. 文字を読むのが苦手だから	7	13.5%
10. 普段から本を読まないから	31	59.6%

n=52

【読み取れること、ポイント】

- 本を読まなかった理由で最も多いのは、「普段から本を読まないから(60%)」であり、本を読む習慣が身につけていない生徒が多い。
- 「読みたいと思う本がない、どの本が面白いかわからないから(27%)」また「マンガ・雑誌を読んでいたら(21%)」との回答が多く、興味関心に合う本が身近にないことを理由に、本を読まない生徒が多い。



※次に「電子書籍(マンガや雑誌、新聞、参考書等を含む)」による「読書」についてお聞きします。

「電子書籍の利用状況(読んだ点数)」

【問10】先月、1か月の間に、「電子書籍」を「何点」読みましたか。

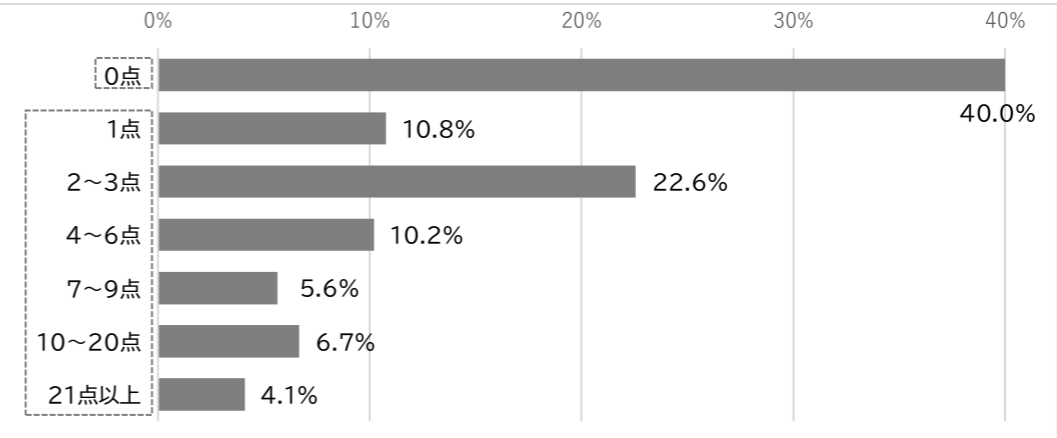
	〈回答数〉	〈割合〉
1. 0点	78	40.0%
2. 1点	21	10.8%
3. 2~3点	44	22.6%
4. 4~6点	20	10.2%
5. 7~9点	11	5.6%
6. 10~20点	13	6.7%
7. 21点以上	8	4.1%

n=195

【読み取れること、ポイント】

～マンガや雑誌が対象に含まれていることに留意～

- 「0点(読まなかった)」が40%となっている一方で、「読んだ」は6割となっており、電子書籍はある程度浸透していることがわかる。
- 補足 <別途分析> 「10点以上」と回答した生徒が電子書籍を読んだ場所は、「自宅や友達の家(81%)」「教室(57%)」「書店・古本屋等(33%)」であることがわかった。
- 補足 <【問5】紙の本との比較> 「紙の本」を読まず「電子書籍」だけ読んだ生徒は45%となっている。



「電子書籍の利用状況(読書時間)」

【問11】先月、1か月の間に、「電子書籍」を1日当たり、「どれくらいの時間」読みましたか。

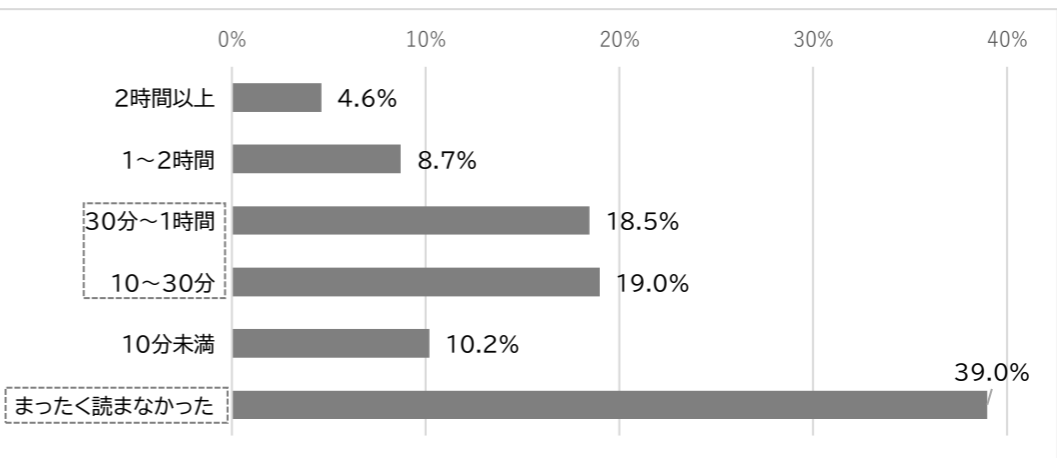
	〈回答数〉	〈割合〉
1. 2時間以上	9	4.6%
2. 1~2時間	17	8.7%
3. 30分~1時間	36	18.5%
4. 10~30分	37	19.0%
5. 10分未満	20	10.2%
6. まったく読まなかった	76	39.0%

n=195

【読み取れること、ポイント】

～マンガや雑誌が対象に含まれていることに留意～

- 「まったく読まなかった」が39%と最も多く、次いで「10~30分」「30分~1時間」(共に19%)と続く。「2時間以上」は5%となっている。
- 補足 <【問8】紙の本との比較> 「30分以上の読書内容」としては、「電子書籍(32%)」の方が「紙の本(22%)」より多くなっている。～マンガや雑誌が対象に含まれていることに留意～



「古賀市の電子図書館の利用状況等」

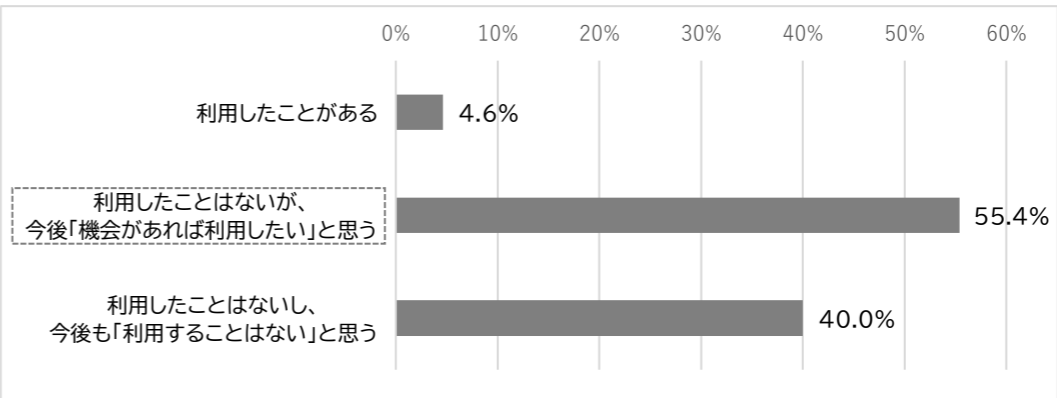
【問12】古賀市立図書館の「電子図書館」は、令和3年3月からサービスを開始していますが、「利用したことがありますか」また「今後利用したい」と思いますか。

	〈回答数〉	〈割合〉
1. 利用したことがある	9	4.6%
2. 利用したことはないが、今後「機会があれば利用したい」と思う	108	55.4%
3. 利用したことはないし、今後も「利用することはない」と思う	78	40.0%

n=195

【読み取れること、ポイント】

- 「利用したことがある」は5%で、広く浸透していない状況がうかがえる。
- 「利用したことはないが、今後機会があれば利用したいと思う」と回答した生徒が56%あり、今後利用拡大に向けた周知など働きかけが必要と考えられる。



※次に“高校生の読書量を増やしていくためのアイデア”についてお聞きします。

《学校図書館をもっと利用したくなるために必要なこと》

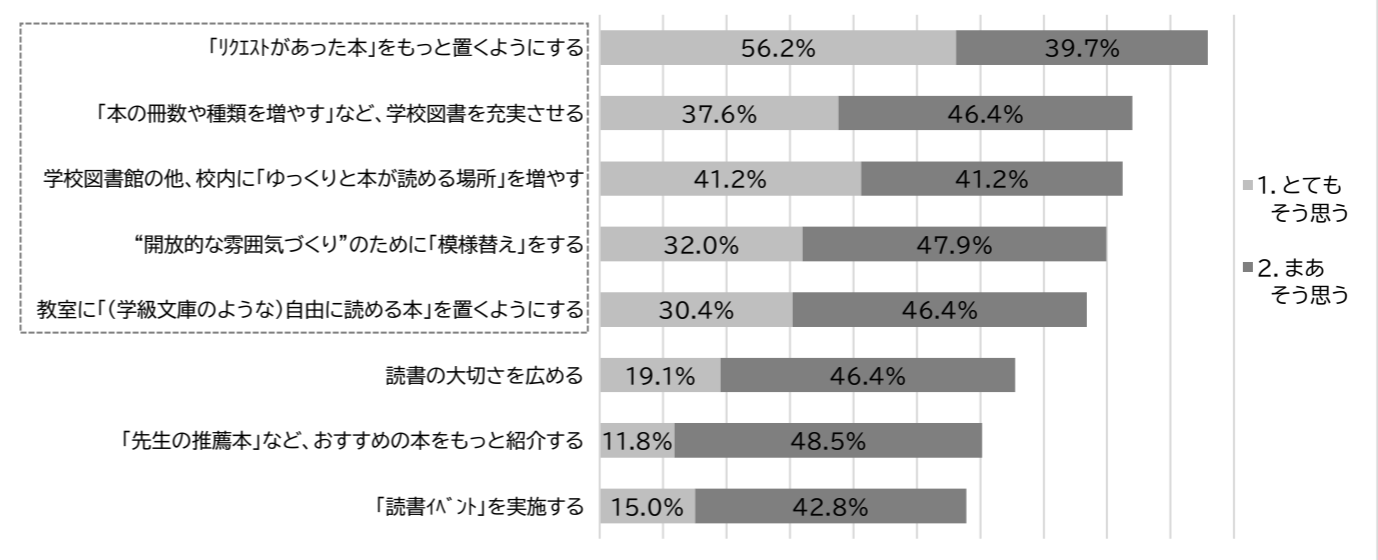
【問13】どのようにすれば、あなたは“もっと学校図書館を利用したくなる”と思いますか。

	〈回答数〉				〈割合〉			
	1.とても そう思う	2.まあ そう思う	3.あまり そう思わない	4.そう 思わない	1.とても そう思う	2.まあ そう思う	3.あまり そう思わない	4.そう 思わない
① 「本の冊数や種類を増やす」など、学校図書を充実させる	73	90	25	6	37.6%	46.4%	12.9%	3.1%
② 「リクエストがあった本」をもっと置くようにする	109	77	5	3	56.2%	39.7%	2.6%	1.5%
③ 「先生の推薦本」など、おススメの本をもっと紹介する	23	94	65	12	11.8%	48.5%	33.5%	6.2%
④ 「読書イベント」を実施する	29	83	66	16	15.0%	42.8%	34.0%	8.2%
⑤ 読書の大切さを広める	37	90	51	16	19.1%	46.4%	26.3%	8.2%
⑥ “開放的な雰囲気づくり”のため「図書館の模様替え」をする	62	93	31	8	32.0%	47.9%	16.0%	4.1%
⑦ 教室に「(学級文庫のような)自由に読める本」を置くようにする	59	90	39	6	30.4%	46.4%	20.1%	3.1%
⑧ 学校図書館の他、校内に「ゆっくりと本が読める場所」を増やす	80	80	30	4	41.2%	41.2%	15.5%	2.1%

〔読み取れること、ポイント〕

- 「リクエストがあった本(96%)」や「冊数や種類の増(84%)」といった『図書資料の充実』が最も多く、次いで「図書館以外でゆっくりと本が読める場所の整備(82%)」や「図書館の開放的な雰囲気づくり(80%)」、「教室内文庫の整備(77%)」の順となっている。
- 高校生が好む本などを手に取りやすく、また読みやすい場所等の環境を整えることが求められている。

～回答上位順に並び替え～



《市立図書館をもっと利用したくなるために必要なこと》

【問14】どのようにすれば、あなたは“もっと市立図書館を利用したくなる”と思いますか。

	〈回答数〉				〈割合〉			
	1.とても そう思う	2.まあ そう思う	3.あまり そう思わない	4.そう 思わない	1.とても そう思う	2.まあ そう思う	3.あまり そう思わない	4.そう 思わない
① 「新刊書」「専門書」などをもっと置くようにする	49	100	33	12	25.3%	51.5%	17.0%	6.2%
② 「高校生が好む本」などをもっと置くようにする	119	66	5	4	61.3%	34.0%	2.6%	2.1%
③ 「高校生向けの電子書籍」を増やす	71	95	22	6	36.6%	49.0%	11.3%	3.1%
④ 「高校生向けの本」があることをもっとお知らせする	67	102	20	5	34.5%	52.6%	10.3%	2.6%
⑤ 高校生向けの「特集コーナー」や「おススメの本」紹介により、本を手に取りやすくする	62	101	25	6	32.0%	52.0%	12.9%	3.1%
⑥ レンズができることをもっとお知らせする	35	101	50	8	18.0%	52.1%	25.8%	4.1%
⑦ 「図書館の資料の探し方」をもっとお知らせする	33	89	58	14	17.0%	45.9%	29.9%	7.2%
⑧ 「高校生を対象とした読書イベント」を開催する	21	89	67	17	10.8%	45.9%	34.5%	8.8%
⑨ “気軽に入れるような雰囲気” “くつろぎスペース” づくりなど「模様替え」をする	74	92	24	4	38.1%	47.4%	12.4%	2.1%
⑩ 「飲み物など」を持ち込めるようにする	71	87	25	11	36.6%	44.8%	12.9%	5.7%

〔読み取れること、ポイント〕

- 「高校生が好む本(95%)」や「高校生向けの電子書籍(86%)」といった『図書資料の充実』に加え、「高校生向けの本があることのお知らせ(87%)」「特集コーナーやおススメの本の紹介(84%)」といった『読書へ興味を引き出すような情報の提供など効果的な働きかけ』が求められている。
- 「気軽に出入りできて、くつろげるような環境の整備(86%)」も求められている。

～回答上位順に並び替え～

